

モンゴル経済概況 (2014年6月)

2014年7月

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

海外調査部 中国北アジア課

〒107-6006 東京都港区赤坂 1-12-32

TEL：03-3582-5181

E-mail：ORG@jetro.go.jp

【免責条項】本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用下さい。ジェトロでは、できるだけ正確な情報の提供を心掛けておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益等を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承下さい。

禁無断転載

アンケート返送先 FAX : 03-3582-5309
e-mail : ORG@jetro. go. jp
日本貿易振興機構 海外調査部 中国北アジア課宛



● ジェトロアンケート ●
調査タイトル：モンゴル経済概況（2014年7月）

今般、ジェトロでは、標記調査を実施いたしました。報告書をお読みになった感想について、是非アンケートにご協力をお願い致します。今後の調査テーマ選定などの参考にさせていただきます。

■質問1：今回、本報告書での内容について、どのように思われましたでしょうか？（○をひとつ）

4：役に立った 3：まあ役に立った 2：あまり役に立たなかった 1：役に立たなかった

■質問2：①使用用途、②上記のように判断された理由、③その他、本報告書に関するご感想をご記入下さい。

■質問3：今後のジェトロの調査テーマについてご希望等がございましたら、ご記入願います。

■お客様の会社名等をご記入ください。（任意記入）

ご所属	<input type="checkbox"/> 企業・団体	会社・団体名
	<input type="checkbox"/> 個人	部署名

※ご提供頂いたお客様の情報については、ジェトロ個人情報保護方針 (<http://www.jetro.go.jp/privacy/>) に基づき、適正に管理運用させていただきます。また、上記のアンケートにご記載いただいた内容については、ジェトロの事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのために利用いたします。

～ご協力有難うございました～

< 目 次 >

1. 政治・外交動向	1
(1)国内.....	1
①【閣議】第 18 回定例閣議.....	1
②【閣議】第 19 回定例閣議.....	1
③【閣議】第 20 回定例閣議.....	2
④【閣議】第 21 回定例閣議.....	3
⑤【閣議】第 22 回臨時閣議.....	3
(2)外交・国際.....	5
①【中国】エルベグドルジ大統領が習近平国家主席と会談.....	5
②【ロシア】アルタンホヤグ首相がロシアを訪問.....	5
③【トルコ】モンゴル・トルコ外務省間委員会を開催.....	5
④【スウェーデン】ボルド外務大臣がスウェーデンを公式訪問.....	5
⑤【デンマーク】ボルド外相がデンマークを公式訪問.....	5
2. 経済動向	7
(1)マクロ経済.....	7
①【インフレ・CPI】5 月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比 13.7 ポイント上昇.....	7
②【マネーサプライ】M2は前年同月比 29.4%増.....	8
③【貸付残高】貸付残高は前年同期比 46.5%増、不良債権残高は同 94.9%増.....	10
④【金利】トゥグルク金利は前月比 0.3 ポイント低下の 19.4%.....	11
⑤【財政収支】1～5 月の財政収支は 1,070 億トゥグルクの赤字.....	12
(2)貿易・投資.....	14
①【貿易統計】1～5 月の貿易収支は 2,040 万ドルの赤字.....	14
②【為替】対ドル、対円ともにトゥグルク安.....	17
③【工業生産】1～5 月期の工業生産は前年同期比 44.3%増加.....	18
3. 社会動向	19
①【社会保険・社会福祉】社会保険支出は前年同期比 20.4%増.....	19
②【平均給与】平均給与は 76 万 2,900 トゥグルク.....	19
2014 年 8 月～11 月の予定	20

1. 政治・外交動向

(1) 国内

①【閣議】第 18 回定例閣議

第 18 回定例閣議が 5 月 3 日に開催され、「ゲル地区開発投資支援プログラム」への融資に関する一般協定書を承認する法案を国会に上程することを決定した。

首都への人口流入により今後 10 年で 40 万人の増加が見込まれるゲル地区では、開発政策と区画整理、インフラ整備が必要になっており、モンゴル政府はアジア開発銀行(ADB)と共同で同プログラムを 10 年間かけ 3 段階で実施し、ゲル地区に 6 カ所の副都心を建設する予定。

②【閣議】第 19 回定例閣議

第 19 回定例閣議が 5 月 10 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・緊縮予算体制に移行

国内外の経済状況により、2014 年度予算の執行が年初より滞りがちになり、さらに今後の執行にも支障が出る恐れがある。そのため、政府は予算を効率的に使い、年度末までは収入に応じて段階的に支出する緊縮予算に移行することを閣議決定した。この決定により、不要不急の支出を削減し、2014 年度予算の効率的な管理を全ての行政機関の執行権者に指示するとともに、一定の方針の下で構造改革を実施することで 2015 年以降の予算に好影響を与える対策の法案を作成するよう関係機関に指示した。

・中小企業向け関税・付加価値税免除法案、関税率・関税法改正案を国会に上程

中小企業の設備更新、製品品質や競争力の向上を政策面から支援することを目的に、関税および付加価値税免除法により 2012 年末まで 33 品目 789 種類の設備、部品の関税、付加価値税を免除していた。この法律を 2016 年末まで再び実施する法案を国会に上程することを決定した。

また政府活動プログラムに含まれるインフラ整備、建設作業に必要な設備の輸入関税および付加価値税を一時的に免除または最大 2 年間の支払いを猶予することを関税率法・関税法の改正案に盛り込み、国会に上程することを決定した。

・「住宅ローン基本規則」を改正

モンゴル政府が 2013 年 6 月 17 日より実施している年利 8%の住宅ローンプログラムにより、借り換え申請 1 万 8,212 件、新規 1 万 8,693 件の計 3 万 6,905 件の住宅ローンが提供された。今後このプログラムを地方住民に重点的に提供することで、地方の居住環境が改善され、首都への人口流入が緩和することを目指し、地方で建

設され、上下水道・暖房に接続された戸建て住宅についても同プログラムを適用し、さらに、年利 7%の地方優遇金利を適用するよう住宅ローン基本規則を改正した。

- ・「ストリート」プロジェクトの財源を決定

中国政府による 5 億ドルの輸出借款で実施するインフラ整備案件の財源 2 億 3,500 万ドルの資金のうち、1 億 9,300 万ドルを「ストリート」プロジェクトのトーラ川高速道路プロジェクト、ヤールマグ橋建設プロジェクトに支出することを決定し、中国側と契約を締結し、プロジェクトの実施をバトバヤル経済開発大臣に指示した。さらに、プロジェクトごとに個別の融資協定案を中国側と審議・合意したことを閣議で報告し、プロジェクトの資金が不足する場合には中国側と交渉し、追加財源を確保するよう指示した。

- ・タワントルゴイーハンボグドーハンギ間道路のコンセッション契約を締結

コンセッション法に従い「タワントルゴイーハンボグドーハンギ方面の自動車道プロジェクト」を落札した「モンゴル自動車道 JV」が設立したナコ社とコンセッション契約の交渉を行い、最終契約案を作成した。同契約の締結許可をバトバヤル経済開発大臣に与え、コンセッションの実施に必要な道路予定地の環境影響評価、ファイジビリティスタディ、設計図の承認、道路建設事業認可の給付をガンスフ道路・運輸大臣、オユン自然環境グリーン開発大臣、バヤルサイハン建設・都市計画大臣にそれぞれ指示した。

- ・アルタンブラグ自由貿易地域通過の際の臨時規則を承認

アルタンブラグ自由貿易地域への投資収益を高め、また投資企業による事業開始および物流を構築するため、アルタンブラグ自由貿易地域に旅客、貨物、輸送機関を通過させる臨時規則を承認した。

規則には自由貿易地域に外国人をビザ無しで入域させ、貨物、輸送機関をゼロ関税で自由に入域させ、企業設立時の登記手数料を免除するなど、国境検査機関の権限を明記した。また地域住民の個人貿易を支援するため、旅客の個人用途の食品および家庭用途の電化製品の割り当てを定め、割り当てに含まれない品目については 300 万トゥグルク以下の商品を自由貿易地域から国内に非課税で持ち込む試験的規則を盛り込んだ。

③【閣議】第 20 回定例閣議

第 20 回定例閣議が 5 月 17 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

- ・科学技術に関する政策大綱案を国会に上程

科学技術政策大綱の改訂案をガントゥムル教育・科学大臣が説明し、国会に上程することを承認した。改訂案には、科学技術分野で蓄積された人材を最大限活用し、創造的、総合的活動の実現を目指し、モンゴル国の持続的発展、安全保障、国際競争力を向上し、鉱物資源のみに依存しない、知識に基づく経済分野を拡大発展させるため、科学の役割を重視することが盛り込まれた。

・各種法律の改正案を国会に上程

石油法改正法案、事業認可法改正法案、国家備蓄法改正法案、税法改正法案、関税法・関税率改正法案、付加価値税法改正法案、事業所得税法改正法案、行政監査法改正法案、予算法改正法案、政府特別基金改正法案、証紙法改正法案、鉱物資源法改正法案、石油法廃止法案をそれぞれ審議し、閣僚から出された意見を反映させた上で、国会に上程することを決定した。

④【閣議】第 21 回定例閣議

第 21 回定例閣議が 5 月 21 日に開催され、輸出支援プログラムの実施および雇用創出を促進することを決定した。

輸出支援プログラムの枠内でのプロジェクト融資に関する問題について審議し、市中銀行が融資を決定した 20 億トゥグルク以下のプロジェクトに対しては、中小企業開発基金を通じて融資する際に必要な 1,000 億トゥグルクを国債販売収入から支給することをバトバヤル経済開発大臣に指示し、モンゴル開発銀行が管理することを承認した。プロジェクトへの融資を関連法規に従い実施・監査することをサンジミヤタブ労働大臣に指示した。全 579 件のプロジェクトから総額 3,410 億トゥグルクの融資希望が寄せられている。

⑤【閣議】第 22 回臨時閣議

第 22 回臨時閣議が 5 月 26 日に開催され、下記の内容が審議されるとともに関係閣僚に指示が出された。

・建設および医療分野の製造プロジェクトに融資

国家安全保障委員会からの答申に従い、国債販売収入から融資可能な案件を審議し、建設および医療分野で実施する 4 つの案件について、2017 年 5 月に返済する条件で総予算の 3 分の 1 までをモンゴル開発銀行を通じて融資することを決定し、バトバヤル経済開発大臣、モンゴル開発銀行の幹部に指示した。

・地下経済撲滅に向けた法案を国会に上程

経済透明化法案、恩赦法の法案を閣議で審議し、国会に上程することを決定した。

経済透明化法の施行により、従来秘匿されていた収入、資産などの地下経済を表

面化し、法に従い課税することが可能になり、税基盤が拡大するなどの面で具体的な効果が期待できる。法案では税、社会保険以外に、不動産登記、法人登記、経理、収支報告について記載し、従来の法律よりも適用範囲を拡大した。これに関連して、恩赦法案では、税務申告・決算報告に関する罪を犯した者に対し、経営責任法に定めた罰則、刑法に定めた刑罰を1回に限り免除することを規定した。

(2) 外交・国際

①【中国】エルベグドルジ大統領が習近平国家主席と会談

上海で開催されたアジア信頼醸成措置会議(CICA)に出席するため中国を訪問したエルベグドルジ大統領は、5月19日に習近平国家主席と会談した。

会談では、インフラ分野の協力、石炭ガス化プロジェクトの進捗、通過輸送・海港利用問題について話し合った。双方は両国の貿易、経済協力において重要な資源、エネルギー分野での協力が拡大していることを強調した。

②【ロシア】アルタンホヤグ首相がロシアを訪問

5月23日アルタンホヤグ首相はサンクトペテルブルグ国際経済フォーラムに出席するためロシアを訪問し、プーチン大統領と会談した。会談では、両国の今後の協力関係、経済問題について意見交換し、鉄道の利用改善と物流の促進、両国民の相互査証免除問題について話し合い、ロシアがモンゴル国内に天然ガスパイプラインを通過させる際に、モンゴル政府は協力する用意があると表明した。

またアルタンホヤグ首相はロシア鉄道のヤクーニン社長、ロステックのチェメゾフ CEO、ロスアトムの子会社キリエンコ社長らと会談した。

③【トルコ】モンゴル・トルコ外務省間委員会を開催

第2回モンゴル・トルコ外務省間委員会が5月23日にウランバートルで開催され、両国民の査証条件の緩和、労働者の社会保障、健康保険の協定を審議することで合意した。またトルコに出稼ぎに出ているモンゴル人への労働許可、トルコの航空会社の輸送旅客量の増加、運転免許の相互承認、モンゴルで在留許可を持つ長期滞在のトルコ人への再入国許可の免除などで協力する。

④【スウェーデン】ボルド外務大臣がスウェーデンを公式訪問

5月26日にボルド外務大臣がスウェーデンを公式訪問し、ビルト外務大臣と会談した。会談では国交樹立50周年を迎える両国の協力関係、国際問題について意見交換し、2015年にモンゴルが議長国を勤める第5回フリーダム・オンライン連合の開催に向けて、スウェーデンは協力する意思を伝えた。またボルド外務大臣は両国の商工会議所が共催したモンゴル・スウェーデンビジネスフォーラムに出席し、モンゴルの投資環境、政策について紹介し、スウェーデンを代表する企業を視察した。

⑤【デンマーク】ボルド外相がデンマークを公式訪問

ボルド外務大臣が5月27、28日にデンマークを公式訪問し、デンマーク女王のマルグレーテ2世、フォルケティンク（デンマーク議会）のリックトフト議長を表彰訪問した。

またボルド外務大臣はリデゴ外務大臣、イェンセン貿易大臣と会談し、経済協

力の拡大と、新たな分野への投資誘致について話し合った。デンマーク側は今後、食料・農牧業、畜産加工分野での協力の可能性を表明した。またデンマークの乳製品・食品加工、ゴミの再資源化、環境などの技術をモンゴルに導入することについて意見交換した。

(出所：モンゴル政府官房、モンゴル国会、モンゴル外務省の各ウェブサイト)

2. 経済動向

(1) マクロ経済

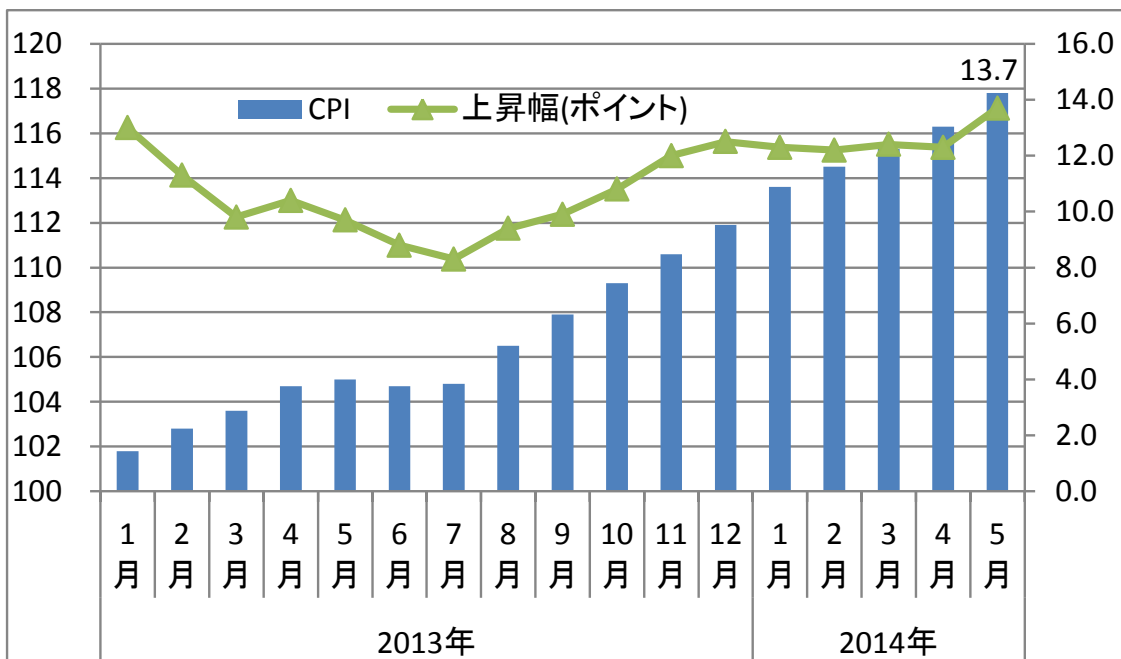
①【インフレ・CPI】5月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比13.7ポイント上昇

5月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比で13.7ポイント(前月比では1.5ポイント)上昇した(図1、表1参照)。

品目別では、教育が27.2ポイント、被服および履物が20.2ポイント、家具・日用品が19.0ポイント、アルコール・タバコが16.9ポイント、レストラン・ホテルが16.7ポイント、住居・水道が13.2ポイント、食料品が11.7ポイント、保健医療が11.4ポイント、交通・輸送が5.2ポイント、娯楽が1.9ポイント、その他の商品・サービスが22.1ポイントそれぞれ前年同月比で上昇した。一方、郵便・通信が0.1ポイント低下した。(表2参照)。

(図1)消費者物価指数(CPI)の推移

(左軸:CPI、右軸:前年同月比上昇幅)



(出所)国家統計局月報

(表1)消費者物価指数(CPI)の推移

	2013年							2014年				
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
消費者物価指数(CPI)	104.7	104.8	106.5	107.9	109.3	110.6	111.9	113.6	114.5	115.3	116.3	117.8
前月比	-0.3	0.1	1.7	1.4	1.4	1.3	1.3	1.7	0.9	0.8	1.0	1.5
前年同月比	8.8	8.3	9.4	9.9	10.8	12.0	12.5	12.3	12.2	12.4	12.3	13.7

(注1)消費者物価指数(CPI)は2013年初を100とする。

(注2)前月比、前年同月比は上昇幅(ポイント)。

(出所)国家統計局月報

(表2)品目別の消費者物価指数(CPI)上昇幅 (単位:ポイント)

品目名	前年同月比		前月比	
	4月	5月	4月	5月
食料品	9.8	11.7	2.1	2.8
アルコール・タバコ	15.7	16.9	1.9	1.3
被服および履物	19.3	20.2	0.7	1.6
住居・水道	10.5	13.2	Δ0.3	Δ0.4
家具・日用品	18.0	19.0	0.8	1.3
保健医療	11.2	11.4	0.2	1.4
交通・輸送	4.4	5.2	0.3	0.9
郵便・通信	Δ0.2	Δ0.1	0.0	0.1
娯楽	0.8	1.9	Δ0.2	0.8
教育	27.2	27.2	0.0	0.0
レストラン・ホテル	14.6	16.7	1.9	2.6
その他の商品・サービス	20.7	22.1	2.1	1.5

(出所)国家統計局月報

②【マネーサプライ】M2は前年同月比29.4%増

5月末時点の通貨供給量(M2)は前年同月比29.4%増(前月比0.3%増)の10兆2,333億トウグルクだった(表3、図2参照)。

なお、総預金は前年同月比38.9%増(前月比0.8%減)の7兆1,378億トウグルク、トウグルク預金は前年同月比45.2%増(前月比0.1%減)の5兆7,331億トウグルク、外貨預金は前年同月比18.0%増(前月比3.3%減)の1兆4,047億トウグルクだった。

(表 3) マネーサプライの推移

(単位: 億トウグルク、%)

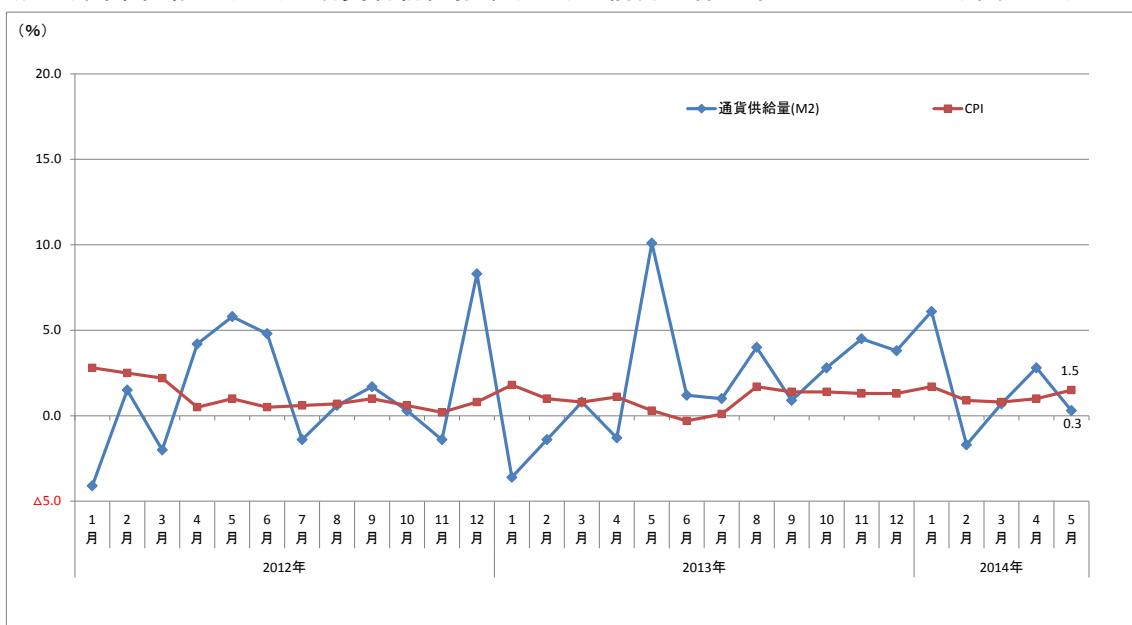
	2013年5月	2014年4月	2014年5月
通貨供給量 (M2)	79,078	101,978	102,333
前年同期比	17.5	42.0	29.4
前月比	10.1	2.8	0.3
総預金	51,379	71,928	71,378
前年同期比	21.6	53.1	38.9
前月比	9.3	0.5	△0.8
トウグルク預金	39,479	57,400	57,331
前年同期比	30.6	56.4	45.2
前月比	7.6	11.2	△0.1
外貨預金	11,900	14,528	14,047
前年同期比	△0.9	41.1	18.0
前月比	15.6	△27.3	△3.3

(出所) 国家統計局月報

マネーサプライの構成比は、トウグルク預金が 56.0%、トウグルク当座が 12.0%、外貨預金が 13.7%、外貨当座が 12.5%、現金が 5.8% だった。前年同期比でトウグルク預金は 6.1 ポイント増加し、トウグルク当座は 2.9 ポイント、外貨預金は 1.4 ポイント、外貨当座は 0.0 ポイント、現金は 1.8 ポイント減少した (図 3 参照)。

(図 2) 貨幣供給量(M2)と消費者物価指数(CPI)の前月比伸び率

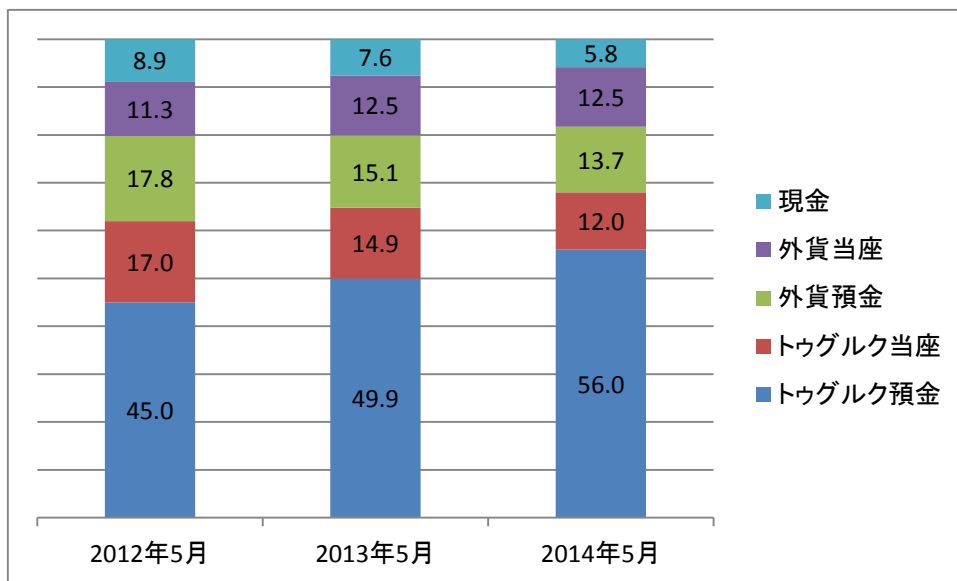
(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

(図3) マネーサプライの構成比

(単位: %)



(出所) 国家統計局月報

③【貸付残高】貸付残高は前年同期比 46.5%増、不良債権残高は同 94.9%増

5月末時点の貸付残高は前年同期比 46.5%増（前月比 2.7%増）の 12兆 534億 トウグルクだった（表4参照）。

(表4) 貸付残高の推移

(単位: 億トウグルク、%)

	2013年5月	2014年4月	2014年5月
貸付残高	77,640	117,377	120,534
前年同期比	30.8	51.2	46.5
前月比	5.2	3.1	2.7
不良債権残高	3,105	6,162	6,197
前年同期比	Δ1.9	98.5	94.9
前月比	0.6	3.7	0.6
期限超過債権残高	1,109	2,990	3,806
前年同期比	55.8	169.6	160.0
前月比	11.0	6.9	27.3
不良債権比率	4.0	5.2	5.1
期限超過債権比率	1.4	2.5	3.2

(出所) 国家統計局月報

貸付先別にみると、民間セクターに 6 兆 5,478 億トウグルク（構成比 54.3%）、個人に 5 兆 4,119 億トウグルク（同 44.9%）、公的機関に 730 億トウグルク（同 0.6%）、金融機関に 149 億トウグルク（同 0.1%）、その他の機関に 58 億トウグルク（同 0.0%）がそれぞれ貸し出されている。

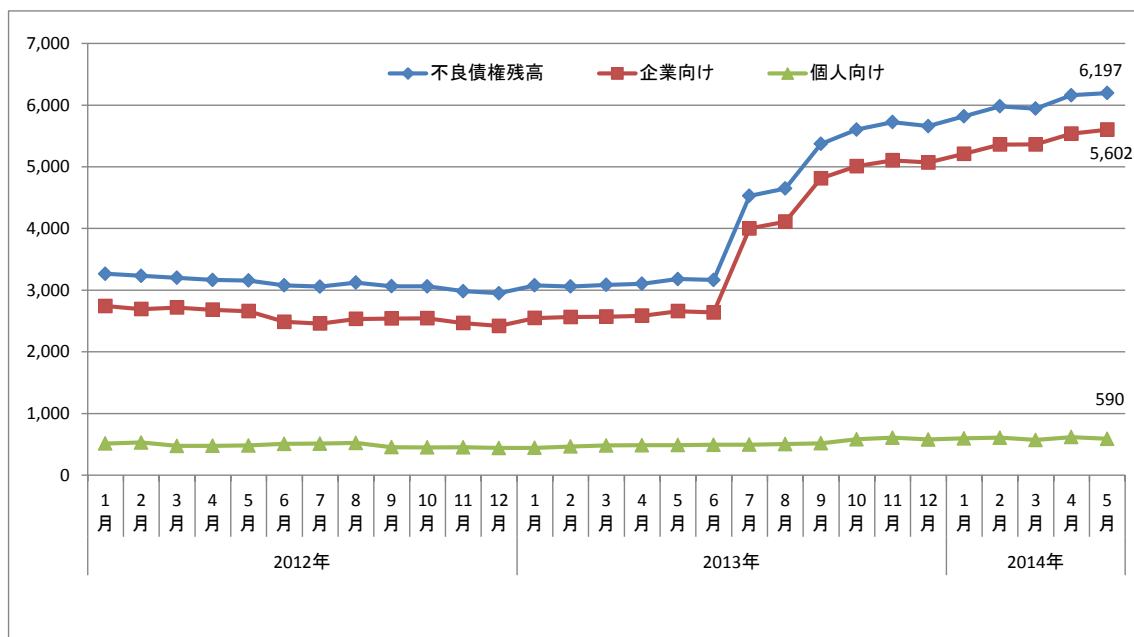
不良債権残高は、前年同期比 94.9%増（前月比 0.6%増）の 6,197 億トウグルクだった（図 4 参照）。不良債権比率は 5.1%と、前年同期比で 1.2 ポイント増加、前月比で 0.1 ポイント減少した。

期限超過債権残高は、前年同期比 2.6 倍増（前月比 27.3%増）の 3,806 億トウグルクだった。期限超過債権比率は 3.2%と、前年同期比で 1.4 ポイント増加、前月比で 0.7 ポイント増加した。

なお、市中銀行の総資産は前年同期比 44.8%増（前月比 1.4%増）の 18 兆 6,477 億トウグルク、政府債務は前年同期比 2.3 倍増（前月比 4.3%増）の 2 兆 2,718 億トウグルクだった。

（図 4）不良債権残高の推移

（単位：億トウグルク）



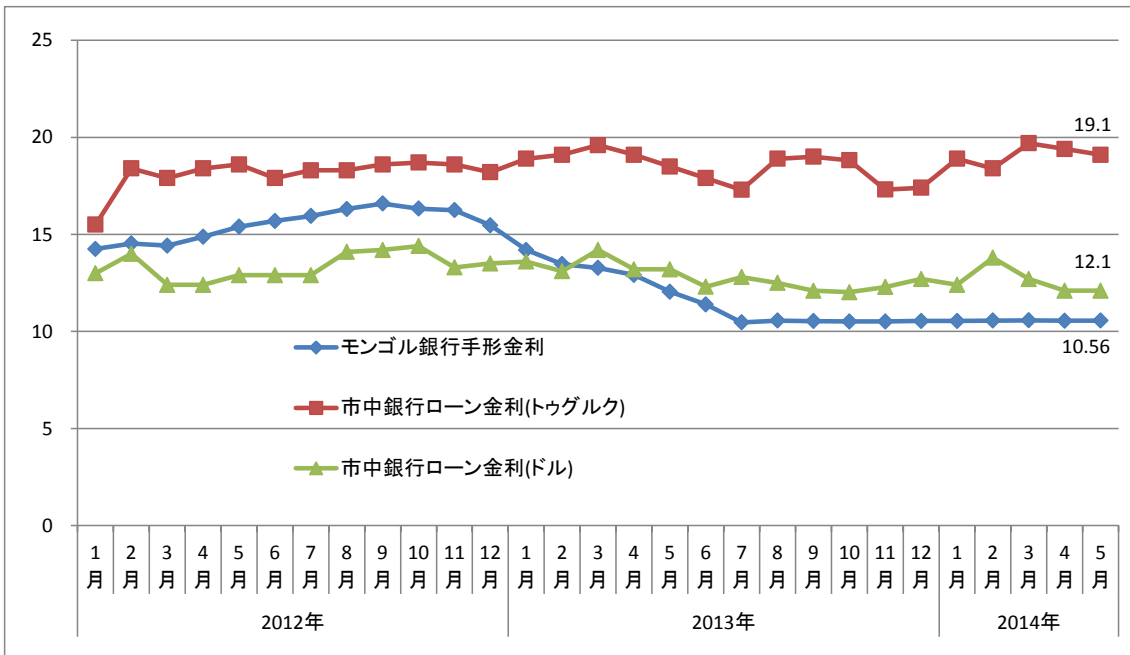
（出所）国家統計局月報

④【金利】トウグルク金利は前月比 0.3 ポイント低下の 19.4%

2014 年 5 月末時点の銀行ローン金利（年利）は、トウグルクが前月比 0.3 ポイント低下（前年同月比 0.6 ポイント上昇）の 19.1%、ドルは変動なしの 12.1%だった（図 5 参照）。

(図 5) 銀行ローン金利の推移(年利)

(単位: %)



(出所)モンゴル銀行

⑤【財政収支】1～5月の財政収支は1,070億トゥグルクの赤字

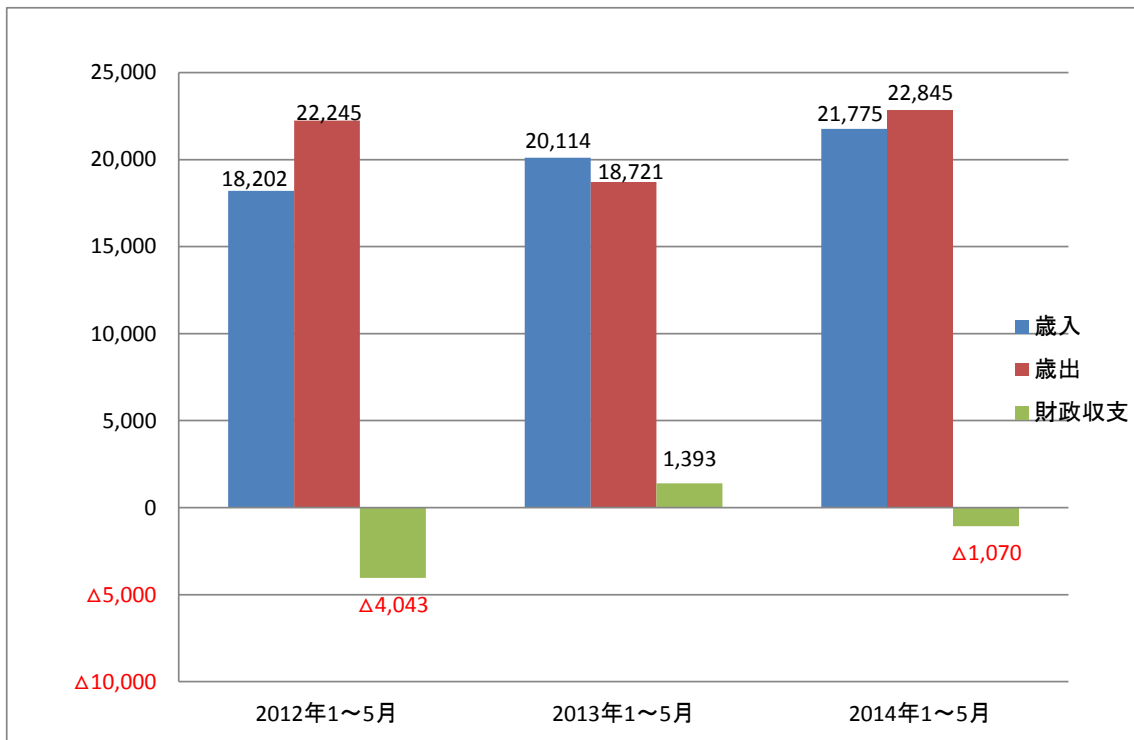
1～5月の歳入および外国からの援助は前年同期比8.3%増の2兆1,775億トゥグルク、歳出および返済は同22.0%増の2兆2,845億トゥグルク、財政収支は1,070億トゥグルクの赤字だった(図6参照)。

歳入および外国からの援助の内訳をみると、税収が85.5%(前年同期比2.5ポイント減)、税以外の収入が13.7%(同3.0ポイント増)、財政安定化基金からの収入が0.8%(同0.5ポイント減)を占めた。

歳出および返済の内訳をみると、経常支出が88.1%(同2.5ポイント減)、資本支出が11.6%(同2.4ポイント増)、返済が0.3%(同0.1ポイント増)を占めた。

(図 6) 財政収支の状況

(単位: 億トウグルク)



(出所) 国家統計局月報

(2)貿易・投資

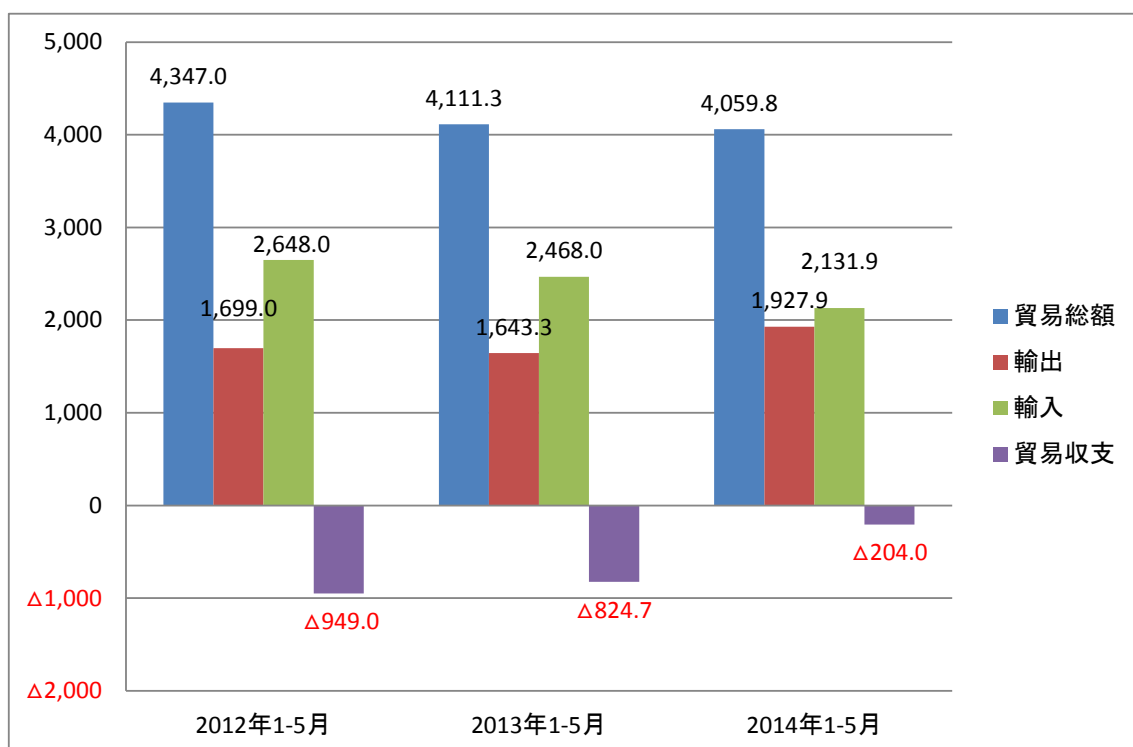
①【貿易統計】1～5月の貿易収支は2,040万ドルの赤字

1～5月のモンゴルの貿易総額は前年同期比1.3%減の40億5,980万ドル、うち輸出が同17.3%増の19億2,790万ドル、輸入が同13.6%減の21億3,190万ドルだった。貿易収支は2,040万ドルの赤字となった（図7参照）。

貿易相手先は115カ国・地域にのぼった。シェアを見ると、中国が58.4%（前年同期比8.5ポイント増）、ロシアが16.0%（同0.4ポイント増）、その他が25.6%（同8.9ポイント減）を占めた。

(図7)貿易額および貿易収支の推移

(単位:100万ドル)



(出所)国家統計局月報

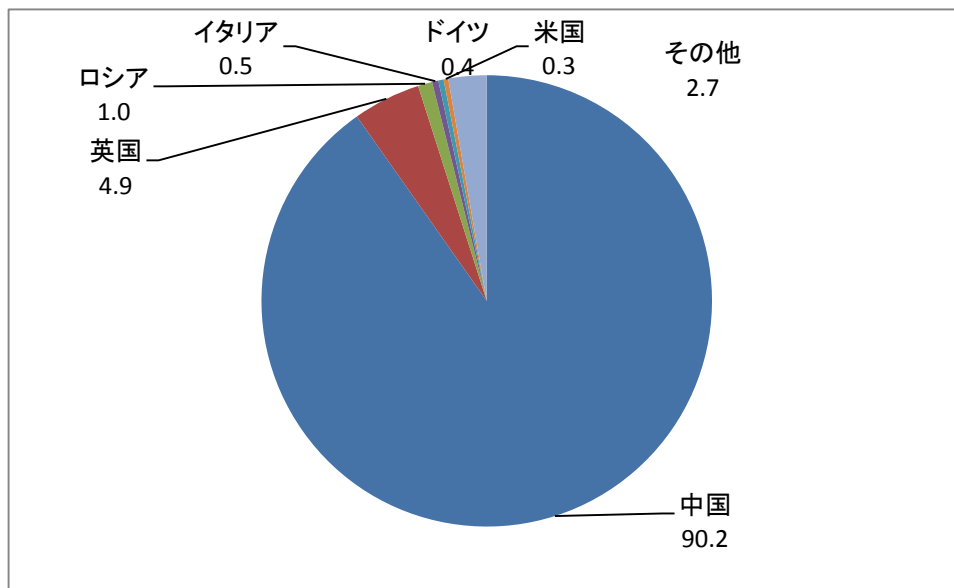
<輸出の90.2%が中国向け>

輸出相手先は50カ国・地域にのぼる。輸出総額に占めるシェアは、中国が90.2%、英国が4.9%、ロシアが1.0%、イタリアが0.5%、ドイツが0.4%、米国が0.3%、その他が2.7%だった（図8参照）。

主要輸出品目は、鉱物製品、宝石・貴金属、テキスタイル、皮革・毛皮原料などで、これら4品目が輸出総額の96.2%を占める（表5参照）。

(図8)輸出相手先のシェア

(単位:%)



(出所) 国家統計局月報

(表5)輸出総額に占める品目別のシェア

(単位:%)

	2012年1~5月	2013年1~5月	2014年1~5月
鉱物資源・製品	90.9	81.4	81.8%
宝石・貴金属	2.3	7.7	4.7%
テキスタイル	4.7	7.2	8.5%
皮革・毛皮原料	0.8	1.1	1.2%
その他	1.3	2.6	3.8%

(出所) 国家統計局月報

(表6) 鉱物製品の輸出量(数量ベース)(単位:1,000トン、金はトン、原油は1,000バレル)

	2012年1~5月	2013年1~5月	2014年1~5月
石炭	7,398.0	6,331.9	7,254.8
原油	1,261.7	1,789.2	2,609.7
鉄鉱石	2,387.4	2,324.2	1,932.1
粗銅	231.1	231.7	433.8
螢石	154.5	107.6	113.7
亜鉛鉱石	48.6	68.5	36.0
金(未精錬・半精錬)	0.9	3.0	2.5
その他	2.5	2.6	2.3

(出所) 国家統計局月報

このうち鉱物製品の内訳をみると、粗銅が 37.3%（前年同期比 16.7 ポイント増）、石炭が 18.4%（同 8.9 ポイント減）、原油が 13.5%（同 3.2 ポイント増）、鉄鉱石が 8.0%（同 8.0 ポイント減）、未精錬または半精錬の金が 4.7%（同 3.0 ポイント減）、亜鉛鉱石が 1.9%（同 2.2 ポイント減）、蛍石が 1.3%（同 0.3 ポイント減）、モリブデンが 0.6%（同 0.2 ポイント減）、その他の製品が 14.3%（同 2.7 ポイント増）となっている。なお、数量ベースの輸出量は表 6 に示した通りである。

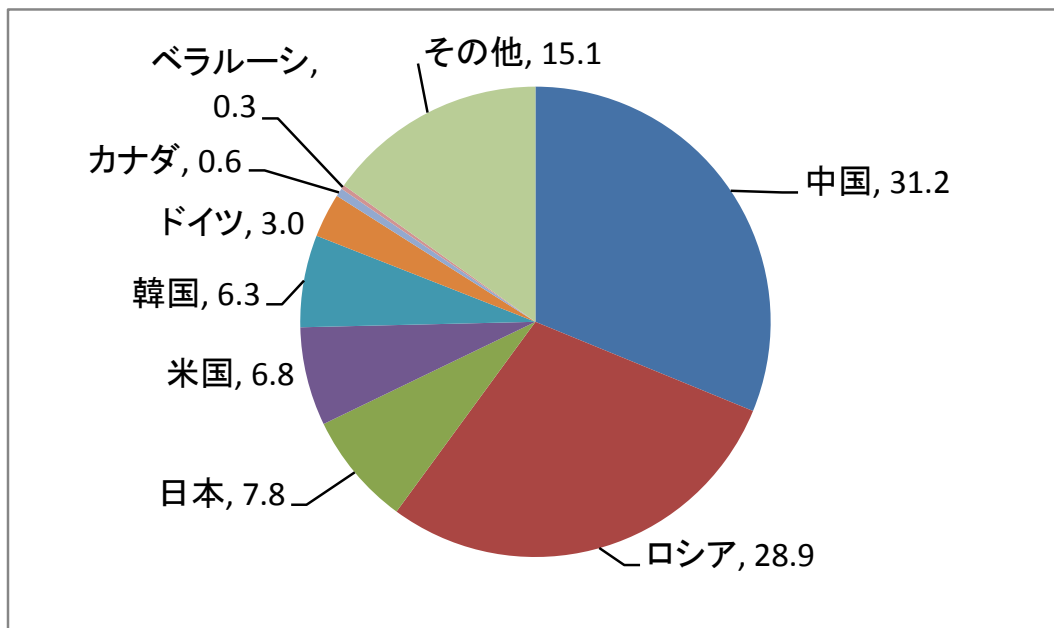
<輸入シェアは中国、ロシア、日本、米国の順に>

輸入相手先は 97 カ国・地域にのぼる。輸入総額に占めるシェアは、中国が 31.2%、ロシアが 28.9%、日本が 7.8%、米国が 6.8%、韓国が 6.3%、ドイツが 3.0%、カナダが 0.6%、ベラルーシが 0.3%、その他が 15.1%だった（図 9 参照）。

輸入総額に占める品目別のシェアは、鉱物製品が 27.1%、機械設備・電機製品および同部品が 19.3%、自動車・航空機および同部品が 15.2%、金属製品が 9.0%、食品が 6.8%、その他の製品が 22.7%だった。（図 10 参照）。

（図 9）輸入相手先のシェア

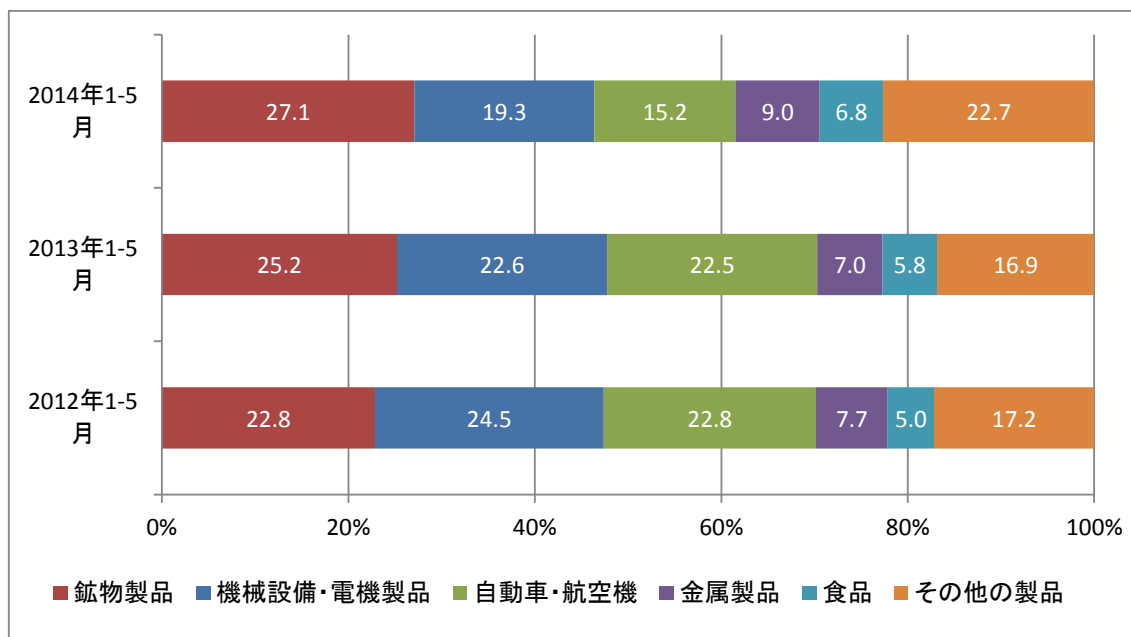
（単位：%）



（出所）国家統計局月報

(図 10) 輸入総額に占める品目別のシェア

(単位: %)



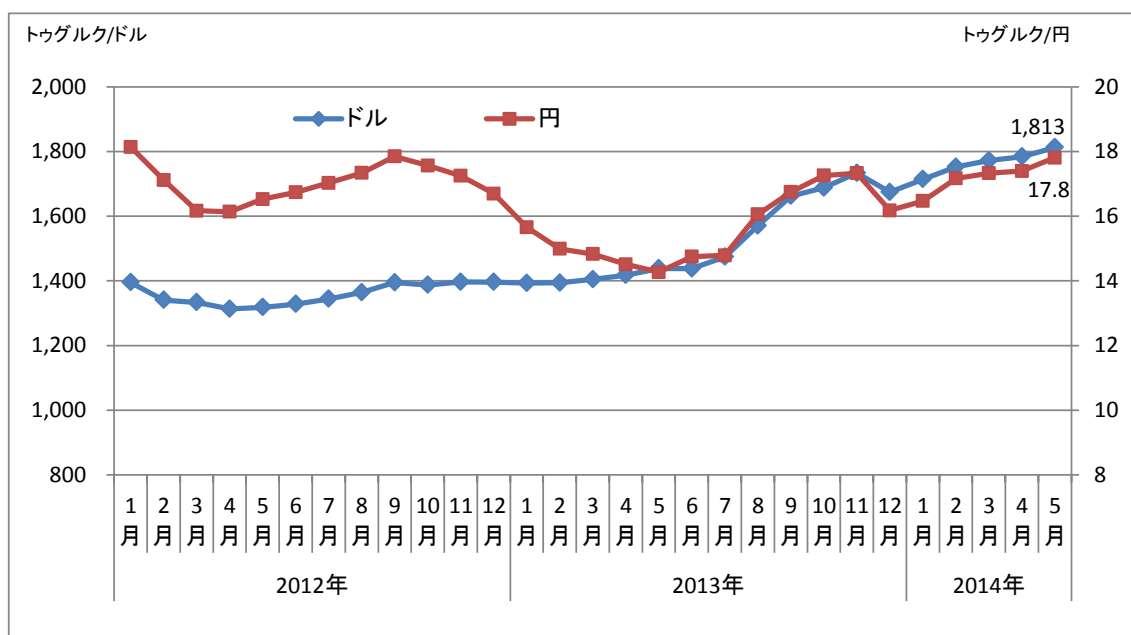
(出所) 国家統計局月報

②【為替】対ドル、対円ともにトゥグルク安

5月の期中平均レートは、対ドルは1,813 トゥグルク、対円は17.8 トゥグルクだった。前月に比べ、対ドル、対円ともにトゥグルク安となった(図 11 参照)。

(図 11) 為替レートの推移

(左軸: 対ドル、右軸: 対円)



(出所) モンゴル銀行

(3) 産業

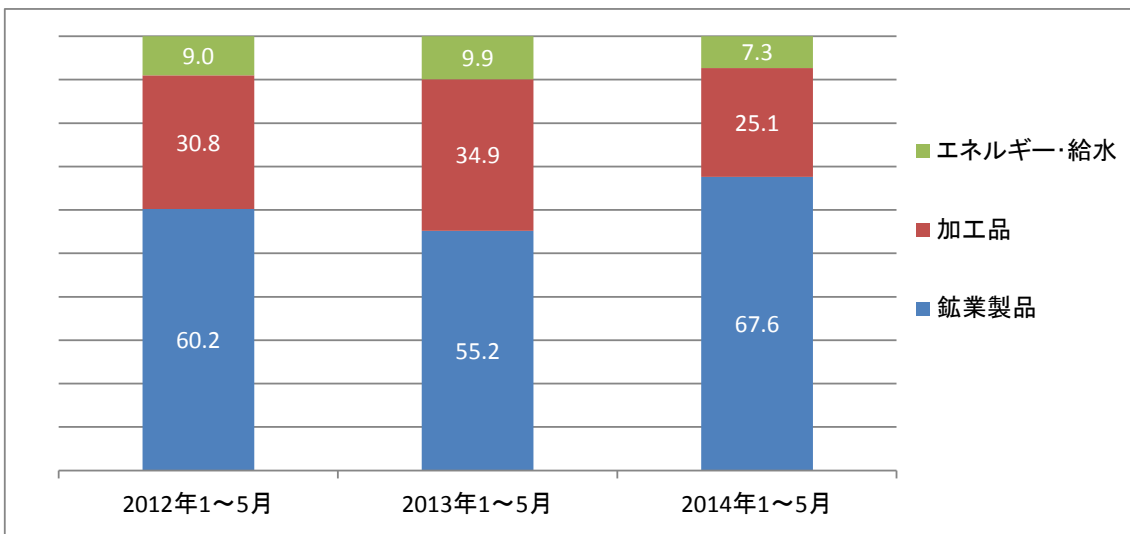
①【工業生産】1～5月期の工業生産は前年同期比 44.3%増加

1～5月期の工業生産は、前年同期比 44.3%増の 3 兆 1,960 億トウグルクだった。

なお、工業生産品の総売上高は 3 兆 7,778 億トウグルクで、このうち鉱業製品が 67.6%（前年同期比 12.4 ポイント増）、加工品が 25.1%（同 9.8 ポイント減）、エネルギー・給水が 7.3%（同 2.6 ポイント減）を占めた（図 12 参照）。

(図 12) 工業生産品の売上高に占める品目別シェア

(単位：%)



(出所) 国家統計局月報

3. 社会動向

①【社会保険・社会福祉】社会保険支出は前年同期比 20.4%増

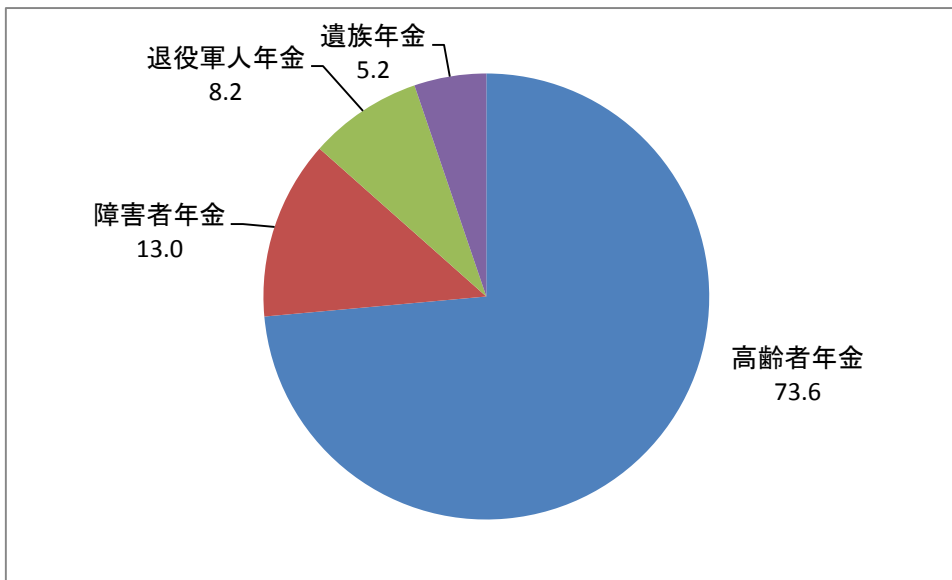
1～5月の社会保険基金収入は前年同月比 13.5%増の 5,308 億トゥグルク、支出は同 20.4%増の 5,1812 億トゥグルクだった。

社会保険基金から支給された年金のうち、高齢者年金が 73.6%、障害者年金が 13.0%、退役軍人年金が 8.2%、遺族年金が 5.2%を占めた（図 13 参照）。

なお、同月における社会保険加入者数は 65 万 860 人、うち企業加入者が 66.4%、公務員加入者が 33.6%を占めた。前年同月比では、加入者総数が 7.5%、企業加入者が 9.4%、公務員加入者が 3.9%、それぞれ増加した。

（図 13）年金支給の内訳

（単位：%）



（出所）国家統計局月報

②【平均給与】平均給与は 76 万 2,900 トゥグルク

2014 年第 1 四半期より、従来のサンプリングによる集計方法を改め、社会保険基金へ支払われた社会保険料に基づき平均給与を計算するようになった。

社会保険基金の報告書によると、モンゴル国内の 3 万 3,400 社の 2014 年第 1 四半期の平均給与は 76 万 2,900 トゥグルクで、男性は 82 万 9,900 トゥグルク、女性は 69 万 6,300 トゥグルクだった。

分野別では、鉱山分野の 169 万 6,800 トゥグルクが最も高く、家内制事業の 33 万 9,000 トゥグルクが最も少なかった。

従業員数別では、200 人以上が 89 万 6,300 トゥグルク、100～199 人が 73 万 9,800 トゥグルク、50～99 人が 71 万 6,800 トゥグルク、10～49 人が 60 万 7,600 トゥグルク、1～9 人が 44 万 9,100 トゥグルクだった。

2014年8月～11月の予定

- | | |
|----------|---|
| 9月2～3日 | Invest Mongolia 2014 (会場未定、ウランバートル) |
| 9月4～5日 | Discover Mongila 2014
(於・Children's Palace Ulaanbaatar ウランバートル) |
| 9月4～6日 | Mining Mongolia 2014 Exhibition
(於・Buyant Ukhaha Sports Palace ウランバートル) |
| 9月4～6日 | Power & Renewable Energy Mongolia
(於・Buyant Ukhaha Sports Palace ウランバートル) |
| 9月4～6日 | Building & Construction Mongolia
(於・Buyant Ukhaha Sports Palace ウランバートル) |
| 9月10～12日 | 27th Asian Trade Promotion Forum (ATPF) CEO meeting
(於・Government House ウランバートル) |
| 9月11～15日 | “Ulaanbaatar Partnership” 2014 International Trade fair
(於・Misheel Expo ウランバートル) |